

社会資本総合整備計画

事後評価書

計画の名称	多治見市における循環のみちの実現（防災・安全）（減災）（重点計画）																			
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）											重点配分対象の該当		○						
交付対象	多治見市																			
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																			
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		4,039		A	3,848		B	0		C	191		D	0		効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	4.72		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	災害時における池田下水処理場等水処理施設の機能確保を22.2%（H26）から44.4%（H30）に増加させる。			
	災害時における池田下水処理場の水処理施設の機能確保率 水処理施設のうち耐震化された水処理施設 / 全水処理施設	22%	22%	44%
2	平成23年豪雨相当の雨に対して、床上浸水個戸数を439戸から概ね解消させる。			
	平成23年度豪雨時における床上浸水戸数	439戸	217戸	0戸
3	平成24年度に実施した市民意識調査における「雨水の排水施設整備などの浸水対策（昭和小学校区）」の市民満足度を-0.46から0ポイントに上昇させる。			
	市民意識調査における「雨水排水施設整備などの浸水対策」の項目の市民満足度（昭和地区）	0ポイント	0ポイント	0ポイント

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	管渠（ 汚水）	新設	マンホールトイレ設置（ 地震対策）	マンホールトイレN=2基	多治見市	■					0		策定済
	A07-002	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	ポンプ 場	-	土岐川右岸ポンプ場増設 （浸水対策）	ポンプ場（7.2m3/s）	多治見市	■	■	■			1,394		策定済
	A07-003	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	ポンプ 場	新設	土岐川左岸ポンプ場新設 （浸水対策）	ポンプ場（7.0m3/s）	多治見市	■	■	■	■	■	2,298		策定済
	A07-004	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	-	新設	雨水貯留施設の新設（浸 水対策）	雨水貯留施設（250m3）	多治見市	■					0		策定済
	A07-005	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	終末処 理場	改築	池田下水処理場他（地震 対策）	池田処理場N=2施設（合流系 塩素滅菌棟，管理機械棟） 市之倉処理場N=1施設	多治見市	■	■	■	■	■	156		策定済
											小計						3,848		
										合計						3,848			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	-	新設	平和町雨水調整池新設（ 浸水対策）	V=1000m3	多治見市	■					0	-	
		下水道事業計画規模以上の降雨時において、浸水対策の軽減が期待できる																	
	C07-002	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	-	新設	平和町防災拠点（浸水対 策）	A=2000㎡	多治見市				■	■	191	-	
		下水道事業計画規模以上の降雨時において、迅速な内水排除が可能となり、浸水被害の軽減が期待できる																	
	C07-003	下水道	一般	多治見市	直接	多治見市	-	-	内水ハザードマップ作成	マップ作成N=1式	多治見市	■					0	-	
		内水ハザードマップを作成することにより住民意識の向上し、浸水被害の軽減が期待できる。																	
											小計						191		
											合計						191		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

多治見市にて実施

事後評価の実施時期

令和2年4月

公表の方法

多治見市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

浸水対策が完了し、平成23年豪雨相当の雨に対する床上浸水戸数を解消させることができた。あわせて、災害に対する市民の満足度も上昇した。
これにより、市民が永続的に日常生活の中で実感できる、安心・安全かつ快適な暮らしの実現に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、計画的かつ効率的に下水道整備を進めていき、一人でも多くの市民が安全・安心かつ快適な日常生活が実現できるように、事業を進めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	災害時における池田下水処理場等水処理施設の機能確保率を増加させる。		
	最 終 目標値	44%	目標達成
	最 終 実績値	44%	
2	平成23年豪雨相当の雨に対して、床上浸水個戸数を概ね解消させる		
	最 終 目標値	0戸	目標達成
	最 終 実績値	0戸	
3	平成24年度に実施した市民意識調査における「雨水の排水施設整備などの浸水対策（昭和小学校区）」の市民満足度を上昇させる		
	最 終 目標値	0ポイント	目標達成
	最 終 実績値	0ポイント	